

若手経営者・政治家・社会起業家など 20 名が東北の教育のために立ちあがる

一般財団法人 教育支援グローバル基金の設立及び

支援事業「ビヨンドトゥモロー」の開始について

2011 年 6 月 30 日

一般財団法人 教育支援グローバル基金

一般財団法人 教育支援グローバル基金は、若手の経営者・政治家・社会起業家など 20 名以上によって、2011 年 6 月 1 日に一般財団法人として設立されました。本基金は、東日本大震災により被災した若者のリーダーシップ教育支援を主な事業領域とし、今秋より、新たに大学に進学する意欲を持つ若者を対象とした支援事業「ビヨンドトゥモロー／BEYOND Tomorrow」（6 月 30 日現在、商標登録申請中）を開始いたします。

本事業は「ひとづくり」を多面的に支援するものであり、その実現のためには広範なステークホルダーによる協力の下に各種リソースを効果的に動員し、事業インパクトを最大化することが不可欠です。被災地の若者との関係構築、現地におけるニーズの理解、国内外での資金調達、各種団体との連携、政策への働きかけ、事業運営の知見、など、多方面にわたって求められる機能を強化するために、政府、企業、教育機関、NGO／市民団体、メディアなど各領域におけるステークホルダーと連携を深めて参ります。

また、本基金メンバーの多くは世界経済フォーラム（ダボス会議）によって選出されたヤング・グローバル・リーダーズであり、グローバルなネットワークを活かして日本発のトップクラスの非営利活動モデルを構築して参る所存です。

【本基金の主なメンバー】

共同代表理事

近藤 正晃 ジェームス	Twitter 日本代表、一橋大学客員教授
高島 宏平	オイシックス株式会社 代表取締役社長
藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク副代表、社会起業家フォーラム副代表
船橋 力	株式会社 ウィル・シード 代表取締役社長

理事

浅尾 慶一郎	衆議院議員
岡島 悦子	株式会社プロノバ 代表取締役社長
小林 正忠	楽天株式会社 取締役常務執行役員
佐藤 輝英	株式会社ネットプライスドットコム 代表取締役社長 兼 グループ CEO
坪内 南	一般財団法人教育支援グローバル基金 事務局長

古川 元久	衆議院議員
堀 主知ロバート	株式会社サイバードホールディングス 代表取締役社長兼グループ CEO
牧原 秀樹	前衆議院議員 弁護士・ニューヨーク州弁護士 政策研究大学院大学
松崎 みさ	株式会社アシモード 代表取締役
松田 公太	参議院議員

評議員

茅野 みつる	カリフォルニア州弁護士
土井 香苗	弁護士、ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表
宮城 治男	NPO 法人 ETIC. 代表理事

賛同YGL

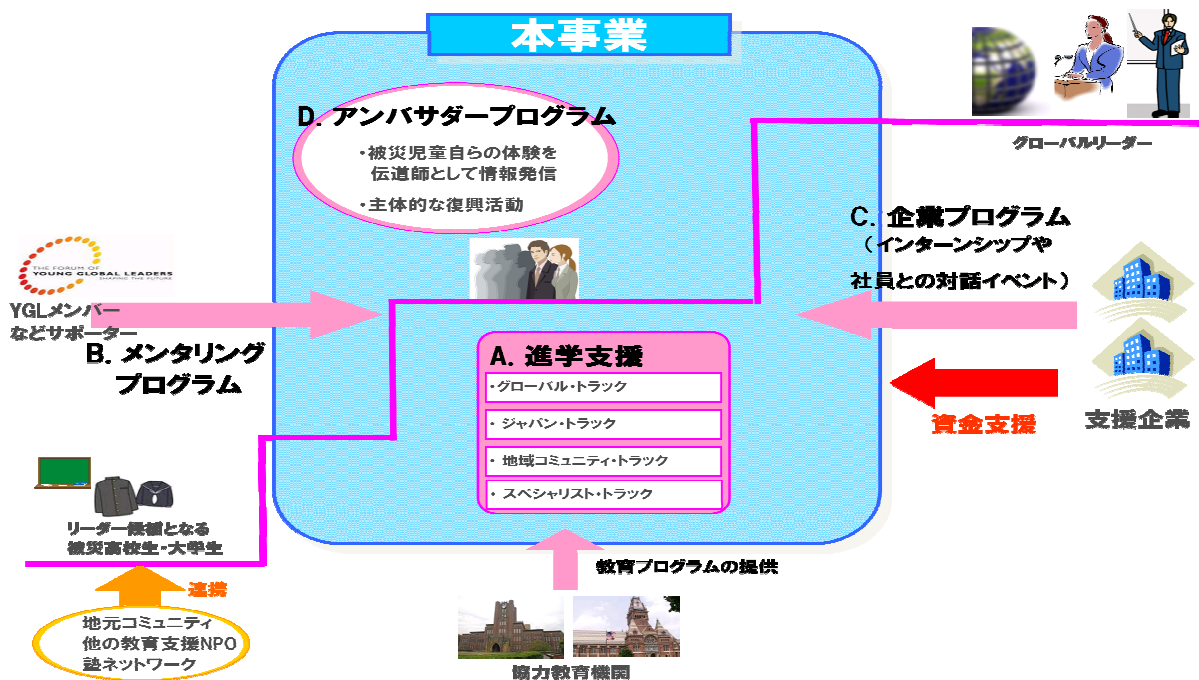
岩瀬 大輔	ライフネット生命保険代表取締役副社長
大塚 拓	前衆議院議員
齋藤 ウィリアム 浩幸	Intecur, K. K. 創業者兼最高経営責任者
堂前 宣夫	株式会社ファーストリテイリング／株式会社ユニクロ 上席執行役員
西山 浩平	エレファントデザイン株式会社 代表取締役社長
松古 樹美	野村ホールディングス コーポレート・シティズンシップ推進室長 マネージングディレクター、 ニューヨーク州弁護士

【ビヨンドトゥモロー／BEYOND Tomorrow の概要】

本事業は、東日本大震災における震災孤児や遺児をはじめとした被災度合いの高い若者が、次世代を担うリーダーやスペシャリストになるための支援プログラムを提供します。

主なプログラム内容は下記の通りです。

- A. 進学支援： 様々な領域における進学をサポートすべく、全奨学金（学費・生活費含む）を提供
- B. メンタリングプログラム： 発起人たちが自らが「メンター」となり、参加者が困難を乗り越え、将来の夢を持ち、それに必要なアクションに向かうまで、対話を通してサポートを提供
- C. 企業プログラム： インターンシップや社員との対話イベントなどを通し、支援企業とプログラム参加者が直に接し社会経験を積むための機会を提供
- D. アンバサダープログラム： 震災を経験した参加者自らが、被災・復興の伝道師として国内外に情報発信し、自然災害の恐怖や求められる施策についての認識を高めるための場を構築



【本事業の特徴】

1) 志あるリーダー育成に特化

絶望の中にいる被災した若者たちに希望を持って明るい未来を掴んでもらうために、リーダーシップやスペシャリストなどの教育に特化し、被災児童から次世代リーダーを生むプログラムとする。対象領域は、社会科学・人文科学・漁業・農業・スポーツ・芸術・音楽など幅広い領域を想定

2) リーダーシップの中身を共に問うプログラム

奨学金を出すだけでなく、発起人を中心に個別参加者のメンタリングセッションや各種プログラムを開催し、被災した若者が夢を持ち、その実現のために必要なステップを共に語り、夢に向かって歩いて行く支援を提供

3) グローバルな機会提供

発起人のグローバルなネットワークを活かし、世界の国々とつながり、視野を広めるための国際的なプログラムを提供

4) 被災児童の伝道師化

被災した若者から私達が学ぶことが多いと考え、一方通行の支援だけではなく、参加者たちを被災地の伝道師と捉え、世界・社会に対して被災地からの発信の場を構築

【プログラム対象者】

- ・現在高校に在籍中で（または）、大学進学を希望する、**意欲と能力を持つ若者**
- ・震災・津波という困難を乗り越え、**社会をより良くすることに貢献したいと考えるリーダー候補**

【対象領域】

- ① **ジャパンプログラム**：国内の大学に進学し、日本社会を良くするために行動できる人材を育成する
- ② **地域コミュニティプログラム**：東北地方復興のために求められる領域（例：建築、漁業、農業など）での専門性を身につけ、地域密着型のリーダーシップを発揮する人材を育成する
- ③ **スペシャリストプログラム**：スポーツ、芸術、音楽など非常に高い専門性が求められる領域で活躍する人材を育成する
- ④ **グローバルプログラム**：海外の大学やボーディングスクールに進学し、グローバルな領域で活躍する人材を育成する

【パートナー団体・企業】

既に2社からの本事業へのご寄付が決定しております（三菱重工業株式会社および、一社は非公開）。その他、世界経済フォーラム（ダボス会議）との連携の下、夏季ダボス会議（中国・大連にて9月に開催）への本事業参加学生の参画が決定しています。

【事務局】

本基金は、トップクラスの非営利活動モデルの構築を目指し、最高水準のマネジメント体制を目指します。国内外の非営利団体のマネジメントに知見ある人材3名による事務局が既に活動しています。

本基金に関するより詳細な情報は下記でも提供しております。

ウェブサイト：<http://www.beyond-tomorrow.org>

ツイッター：http://twitter.com/beyond_jp

フェイスブック：<http://www.facebook.com/beyondtomorrow>

【関係者問い合わせ先】

一般財団法人教育支援グローバル基金

電子メール：info@beyond-tomorrow.org

以上

*** 事業名「ビヨンドトゥモロー／BEYOND Tomorrow」には、「明日を超えて」という訳の通り、中長期的な視野から未来を担う人材の育成を願う意味がこめられています ***